2019年7月　第27号

“いいまち”つくる井町です!!

岡崎市議会議員

井町よしたかの“いいまち”ニュース

（市政レポート）

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します!

発行：岡崎市矢作町字出口１番地　井町圭孝連絡事務所（東レ労組内）TEL:34-2514

岡崎市議会は、6月定例議会を6月3日から6月21日までの19日間開会。市長提出議案等を審議し、全議案可決されましたので、6月定例会のトピックスをご報告させていただきます。

今後ともご指導宜しくお願い致します。

東京オリンピック聖火リレー

来年4月6日から7日にかけて愛知県で行われる東京２０２０オリンピックの聖火リレーのコースの一部に、岡崎市が選ばれた。

世界的なスポーツの祭典であるオリンピックの聖火リレーは、昭和39年以来となるため、本市は積極的にコース誘致に手を挙げてきた。コースの詳細については、これから決まっていくが、岡崎城付近をスタートして、現在殿橋上流に建設中の桜城橋（さくらのしろばし）がゴールという、桜の季節に、岡崎市をＰＲするのにふさわしいコースになる予定。

愛知県内は二日間の日程で、２０２０年4月6日に瀬戸市の深川神社からスタートし、名古屋城まで進む。翌7日は、豊橋市こども未来館ここにこから東三河、西三河などの各市を巡って豊田市の豊田スタジアムでゴール。両日とも出発式を行い、ゴール地点で式典を行う。

聖火リレーで使うのは、ギリシャで採火された「親の火」とメインコースから離れた場所向けの「子どもの火」。岡崎市は「子どもの火」で聖火リレーが行われ、桜城橋付近でミニセレブレーションも行われる予定。

聖火ランナーの応募については、２００８年4月1日以前に生まれた方、走行を希望する各都道府県にゆかりがある方等の資格があるため、詳しい応募方法は実行委のホームページでご確認ください。

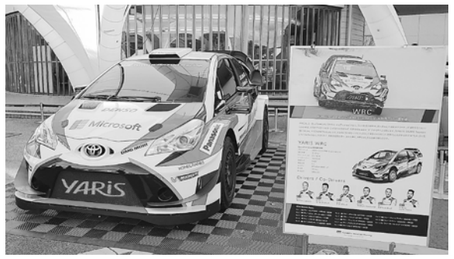
WRCテストイベント開催

現在岡崎市が誘致を図っている国際スポーツ大会の一つである世界ラリー選手権、通称ＷＲＣ。

この競技は市販車を改造した車両で行うタイムアタックレースで、本場ヨーロッパではＦ１と並んだ、人気のあるモータースポーツ。現在、令和2年の日本開催にむけて招致活動を行っている「世界ラリー選手権日本ラウンド招致準備委員会」に対して、岡崎市も協力している。

このＷＲＣに先立ち、今年の11月に、ＰＲ及び実効性や安全性を確認するためのテストイベントが、岡崎市も含まれるコースで開催することが決定。

コースの詳細は、これから。岡崎市を世界に発信できる絶好の機会のため、本市のＰＲと多くの市民が観戦できるよう招致委員会に働きかけしていくとのこと。



乙川リバーフロント地区の状況

東岡崎駅周辺では、「オト リバーサイドテラス」という名称に決まった、北東街区・複合商業施設において、6月1日に駐輪場が先行オープン。今後は、8月1日に駐車場・原付駐車場、9月8日にホテル、9月中旬からショップやレストランが順次オープンしていく。11月2日にはグランドオープンのイベントも予定されており、市民の寄附により製作が進められている若き徳川家康公の騎馬像のお披露目も行われる。家康公像は、駅のホームや名鉄の車窓などからも眺めることができ、岡崎市の新たなシンボルになる事が期待されている。駅前広場では、6月3日から新たに東口一般車ロータリーが供用開始し、現在の駅前北口ロータリーと合わせて利用可能となった。また、東岡崎駅周辺は、ＪＲ岡崎駅周辺とともに10月から路上喫煙禁止区域に指定し、歩きたばこなどのないきれいで快適なまちづくりも合わせて推進される。

井町の部屋

6月定例議会で自身16度目の一般質問に登壇しました。質問した項目は防犯に関することで①特殊詐欺対策②住宅対象侵入盗対策③防犯カメラについての3項目の要点について報告させていただきます。

特殊詐欺対策

Q　特殊詐欺対策で首都圏で電話機に取り付ける録音機を貸与する動きがみられるが、本市でも録音機を貸与してはどうか?

A　特殊詐欺は、従来から電話によるものが多く、最も重要な対策方法としては犯人と接触しないことであり、本市では警察と連携し、留守番電話機能を活用し、不要な電話に出ないよう注意喚起を行ってきた。詐欺の手口は多様化し、はがき、封書、メールなど多岐にわたっている。また、特殊詐欺対策用品も様々な形式のものが市販されており、手口と対策用品の有用性を研究し、対策用品の無償貸出等についても検討していく。

侵入盗対策

Q　昨年の侵入盗被害の特徴と本市の対策は?

A　平成30年の住宅対象侵入盗の手口は、空き巣が81件、忍び込みが54件、居空きが8件。昨年の特徴は、「忍び込み」被害が多発し、6月末時点の半年間で前年同期比約2倍の38件発生しており、年の前半に「忍び込み」被害が多く発生した。手口全体の侵入場所は「窓」が最も多く46%、侵入手口は「ガラス破り」が約39%、「無締まり」が37%であり、発生場所は一戸建てが68%、共同住宅が31%。対策としては、様々な媒体を用いて広報を行うとともに、「岡崎市自主防犯活動団体連絡協議会」を通じて、各隊員やその家族などに鍵かけの徹底、雨戸やシャッターの活用や補助錠の設置など注意喚起情報を伝達した。

防犯カメラ

Q 防犯カメラ設置企業の協力をもっと得られないか?

A　岡崎額田防犯団体連絡協議会の加盟企業におきましても防犯カメラの設置企業が今後増えていくと見込んでいるので、まずは、加盟企業に対しチラシを作成し、協力を依頼することを考えている。

その次に、地域にもお願いし、このチラシが地域の企業においても活用してもらえるよう取り組んでいく。

井町の意見

特殊詐欺について、ある老人クラブの会で留守番電話を設置していない家が1割弱であった。特殊詐欺の多くは電話で接触を図っているため、不審な電話に出ないことが現状最も簡単で有効な手段であると考える。市も対策用品の貸与を検討するとの事だが、もし自宅に留守番電話が無い場合は、五千円程度で迷惑電話防止機能の付いた留守番電話が購入できるので購入を検討いただきたいし、実家に留守番電話が無い場合はプレゼントすることを真剣に検討いただきたい。詐欺の手口も日々進化を続けているので、早い対応を!

侵入盗については、人がいないときに侵入される『空き巣』が最も多いが、人がいるにも関わらず侵入される『忍び込み』も非常に多い。忍び込みは就寝中や入浴中に侵入されるようだが、仮に接触してしまうと命の危険にもつながる犯罪である。窓からの侵入が多く、ガラス破りとほぼ同数無施錠窓からの侵入もあるため、施錠の徹底管理をお願いする。また、古い家が狙われる傾向が強く、その理由は窓の複数ロックが無い構造であることが指摘されている。窓のロックが1か所の場合はホームセンターなどで売られている補助錠を購入し設置することを実施いただきたい。

防犯カメラを設置している企業に地域の防犯にも役立てもらえるよう市から依頼し、現在51社、155台の防犯カメラが地域防犯にも協力してもらっているが、市内にはまだまだ多くの防犯カメラが設置されている。それらの防犯カメラを地域の防犯に利用できれば、地域の安全に繋がるし、企業にとっても地域貢献につながりお互いが利益を得られる。多くの企業に協力してもらえるよう個人的にも活動していく。

井町よしたか連絡先

事務所　〒444-8522 岡崎市矢作町字出口１番地　東レ労組内
TEL：0564-34-2514　FAX：0564-34-2517
自　宅　〒444-0931 岡崎市大和町字塗御堂24-6
TEL：070-5253-4192　FAX：0564-32-4192
E-mail：yimacchi@m5.catvmics.ne.jp
ブログ：http://ameblo.jp/iimachi-imachi/

HPはこちら

政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。